令和４年度事業報告

Ⅰ．概要

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、経済活動も回復基調で推移した一方で、ウクライナ戦争等の地政学的リスクの高まりや、世界的なインフレ、円安を背景に、様々な物の値上げが相次いでおり、現在も先行き不透明な状況は続いております。

当センターにおきましても、令和４年度も引き続き新型コロナウイルス感染症には十分注意し活動しておりましたが、残念ながら職員や会員の一時離脱が相次ぎ、また、物価上昇による各費用のコスト増等により、厳しい事業展開となりました。

その結果、事業実績につきましては、請負・委任業務は、受託件数は減少、就業延人員は横這いでしたが、契約金額においては、愛知県の最低賃金の上昇に伴う配分金の改定により、多少ではありますが前年度を上回りました。シルバー派遣業務は、契約先の減少により、受託件数、就業延人員、契約金額とも減少しました。また会員数は、病気や高齢等による退会者の増加により減少しました。

請負･委任業務事業は、受託件数 2,425 件（前年度対比 4.5％減）、就業延人員 24,726 人日（前年度対比 0.1％増）、契約金額 122,567,914 円（前年度対比 1.9％増）となりました。

労働者派遣事業は、受託件数 72 件（前年度対比 6.5％減）、就業延人員 1,543 人日（前年度対比 23.7％減）、契約金額 9,623,227 円（前年度対比 22.0％減）となりました。

また、安全・適正就業の推進におきましては、傷害事故５件、損害賠償事故４件の事故が発生しました。今後も事故ゼロを目指し、さらなる安全・適正就業の徹底に努めてまいります。

以下、令和４年度事業の実績について報告いたします。

1　就業の機会を確保し、組織的に提供する事業

(1)就業機会・会員の拡大

臨時的かつ短期的な就業、または、その他の軽易な業務を希望する高齢者に対し事業を推進しました。

■　センターへの支援要望（１０月に市長へ要望）

(2)独自事業の推進と拡大

独自事業の開拓と強化推進を図り、有機肥料「シルバーコンポつしま」、会員の手づくり野菜の販売促進や墓地墓石等管理を実施しました。

■　「シルバーコンポつしま」の販売（1,353 袋）

■　手づくり野菜の販売　（８２日間 、毎週火曜日）

■　「墓地墓石等管理」（利用回数　２５回）

2　就業機会を確保するために行う津島市の公の施設の指定管理業務

今後も新たな指定管理業務の確保に向け、調査研究を行ってまいります。

3　有料職業紹介事業の実施

今年度は１件でした。今後も会員の能力に応じた仕事の職業紹介を行ってまいります。

4　労働者派遣事業の実施

県シルバー人材センター連合会と連携し、労働者派遣事業を推進し、労働者派遣で会員に就業機会を提供しました。

- 就業実人員２１人、就業延人員 1,543 人日

5　就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行う事業

知識・技能の向上を目的とし、研修会及び講習会を開催しました。

- 草刈機取扱い及び安全講習会（６月実施、参加者１６人）
- 剪定技能講習会（３拠点センター合同開催、１１月実施、参加者５人）

6　就業に関する調査研究及び相談を行う事業

入会希望者、発注者等からの事業内容の問い合わせに対応するとともに、センターの円滑な事業運営に資するための相談支援等を行いました。

- 入会説明会（１２回開催、延４６人）
- ７５歳以上の高齢者就業の健康調査実施（１月実施、対象人数１０４人）

7　安全かつ適正な就業を推進するために事故防止の啓発等を行う事業

会員の安全意識の向上や作業中の事故防止等に資するため、「安全委員会」を開催し、講習会や安全・適正就業パトロールなどを実施しました。

- 安全委員会（１回開催）
- 安全パトロール（８月、９月、１２月実施）
- 健康診断受診の周知ビラを配布
- 派遣労働会員向け交通安全等教育訓練（３月開催、参加者２人）

8　センターの活動等について周知を図る事業

センター事業の理念、活動を地域住民並びに関係者に広く周知し、事業への理解と協力、会員の確保のため、市広報掲載、機関紙やホームページ等で普及啓発を行いました。

- 市広報掲載（６回）
- 機関紙「シルバーつしま」（２回発行、会員や関係機関等に配布）
- 押し花体験教室（７月開催、参加者２２人）

9 その他センターの目的を達成するために必要な事業

関係機関等との連携を図り、事業運営の向上に努めました。

- 県シルバー人材センター連合会との連携(課題研修、定例会等参加)
- 海部地区シルバー人材センターとの連携(情報交換)